

認証評価結果に対する改善報告書

平成 29 年 7 月 25 日

1. 大学名：九州国際大学

2. 認証評価実施年度：平成 26 年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

○経済学部経営学科の収容定員に対する在籍者数が不足しているため、早急な改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目 2-1 について

改善を要する点として指摘された経済学部経営学科の収容定員に対する在籍者数の不足については、同じく認証評価結果において参考意見として収容定員に対する在籍者数の不足が指摘された経済学部経済学科および国際関係学部国際関係学科についても併せて対応することとして、経済学部と国際関係学部の改組に取り組んだ。

改組にあたっては、本学の教育理念（地域に根ざした人材育成など）を踏まえつつ、北九州地域の経済・社会状況と人材育成のニーズの変化などを考慮し、既設の経済学部と国際関係学部の 2 学部を統合し、ローカルな視点とグローバルな視点を備えた職業人の育成を目指す、現代ビジネス学部を設置することとした。【資料 2-1-01、資料 2-1-02】

平成 29 年 4 月に発足した新学部には、現代における地域の諸課題を考究する地域経済学科とグローバル化が進む地域課題解決のために必要とされる国際社会に関する知識を考究する国際社会学科を設置した。併せて、大学全体の入学定員の見直しを行い、入学定員 600 名を 500 名に変更し、法学部法律学科を 150 名、新学部の現代ビジネス学部地域経済学科を 250 名、国際社会学科を 100 名とした。【資料 2-1-02、5 頁】

学部改組の結果、平成 29 年度入学生は 600 名となり、認証評価受審年度である平成 26 年度の入学生 424 名と比して 1.42 倍の増加を実現した。すべての学部学科において入学定員を超過し、入学定員超過率は、同じく平成 26 年度の 70.7%に対して、120.0%に改善した。また収容定員超過率も平成 26 年度 78.6%に対して、83.4%に改善した。

【資料 2-1-03】

[追加説明]

また、上述の学部改組の取り組みを入学者増につなげるため、以下の通り学生募集や広報活動についても取り組みを充実・強化させた。

①戦略的高校訪問の実施

福岡県を中心とする学生募集本部の先生方によるきめ細かな高校訪問（1 校につき 4 回以上）と入試・広報室職員及び各部署から選抜された協力職員が事前に訪問のアポイ

ントをとり、しっかりと丁寧に説明する高校訪問を実施し、信頼性の向上とイメージアップに努めた。【資料 2-1-04】【資料 2-1-05】

## ②進学説明会への積極的な参加

進学説明会を通じて生徒との接触を増加させることで、生徒により多く周知することが志願者増加に繋がることは明白であるため、可能な限り入試・広報室職員を派遣し参加に努めた。その結果、オープンキャンパスへの参加が、平成 26 年度 430 名、平成 27 年度 521 名から平成 28 年度 618 名と増加し、推薦入学や A0 入試の入学者の増加につながった。【資料 2-1-06】

## ③直接広報が可能な高大連携事業の拡大

平成 26 年 4 月 11 日の福岡県立八幡中央高等学校との連携を発端に、北九州市を中心とした福岡の県立高校との教育連携として 6 校（八幡中央、若松、北九州市立、北九州、小倉西、中間）、また、高大連携として 6 校（博多、下関国際、柳川、慶成、高稜、開新）と協定を結び、連携事業（出張講義や大学体験会等）の実施に努めた。これにより本学の直接的な広報が可能となった。【資料 2-1-07】

## ④特別育成奨学生（トク育）の効用

平成 26 年度まではディスカウント型の奨学金制度を実施していたが、授業料の減免を提示したにも関わらず他大学の追加合格へ進学した事例を鑑み、ディスカウントでは立ち行かないことが判明した。そのため、ニードベース（経済的側面）とメリットベース（優秀な学生確保の面）を兼ね備えた奨学金システムを新たに構築した。5 つの修学支援プログラムを受講することを条件に授業料を減免するという「特別育成奨学生（トク育）」を実施。この新しい奨学金制度は、各事務部局の職員と関係する教員の協力に基づく「教職協働型の事業」として実施した。【資料 2-1-08】

## ⑤ホームページの全面リニューアル

平成 29 年度の現代ビジネス学部の設置並びに法学部の新コースの設置にあたり、積極的な情報発信、募集力の向上を目指し、平成 28 年 7 月末にホームページのリニューアルを行った。従来のホームページを開設して約 8 年が経過し、スマートフォンへの対応や頻度の高い更新ができていないことから、教職員によるワーキンググループを発足しホームページの検討を重ねた。トップページやメニュー画面の検討等を行い、本学の受験者層を想定したホームページの再構築を行った。併せて、スマートフォンへの対応も行い、受験者や在学生がアクセスしやすい環境の整備に努めた。【資料 2-1-09】

## 5. エビデンス（根拠資料）一覧

### 基準項目 2-1 の資料

【資料 2-1-01】基本計画書（九州国際大学現代ビジネス学部設置届出書より抜粋）

【資料 2-1-02】趣旨等を記載した書類（九州国際大学現代ビジネス学部設置届出書より抜粋）

- 【資料 2-1-03】 年度別志願者数・在籍者数・入学者数一覧表（平成 29 年 5 月 1 日現在）
- 【資料 2-1-04】 2016 年度入試広報総括（簡易版）・2017 年度学生募集戦略（簡易版）
- 【資料 2-1-05】 2017 年度入試広報総括（簡易版）・2018 年度学生募集戦略（簡易版）
- 【資料 2-1-06】 進学説明会開催資料（大学案内 2015～2017 より抜粋）
- 【資料 2-1-07】 高大教育連携協定書・高大連携協定書の写し（12 校分）
- 【資料 2-1-08】 特別育成型奨学生制度「トク育」説明（大学案内 2017 より抜粋）
- 【資料 2-1-09】 ホームページ刷新に関する取り組みについて（教職員への周知資料）